

2019年2月25日

エー・シー・エス債権管理回収株式会社

## AI マシンラーニングソリューションを活用した スコアリングモデル開発を開始

エー・シー・エス債権管理回収株式会社（代表取締役社長：表寺務、以下、当社）は、AI 基盤を活用したデータ分析ソリューションを使い、債権回収における予測モデルの開発を開始いたします。

当社は、IoT／ビッグデータ時代における「データ主導・分析活用型の先進的な債権回収プロセス構築」に向けて、2016年よりデータ分析基盤を整備し、データサイエンティストの理論と技術力によって構築したスコアリングモデルを活用して、債権回収業務の効率化と高度化を推進してきました。

この度、これらの取組みをより一層進化させていくため、「AI を活用したデータ分析」に着手いたします。本取組みには、金融機関向けアナリティクスでトップクラスの技術力を誇る韓国の DAYLI Financial Group Inc. ならびに、DAYLI Intelligence Inc. の傘下企業、Solidware Co.,Ltd（ソリッドウェア 代表取締役：パク・ジェヒョン、以下 SW 社）が提供する AI マシンラーニングソリューション「DAVinCI LABS（ダヴィンチ・ラボ）」を活用していきます。

これにより、大量なデータを短期間かつ高度なアルゴリズムを用いて分析することが可能となり、お客さまからのご返済状況等に応じて回収行動を最適化していく取り組みを一層進化させていく計画です。また、これまで専門的な知識が必要であったデータ分析業務を簡易かつ自動的に実施することも可能となり、人為的な制約に縛られることなくデータ利活用体制が整備できると考えており、クライアントへの分析サービス提供等も検討していく計画です。

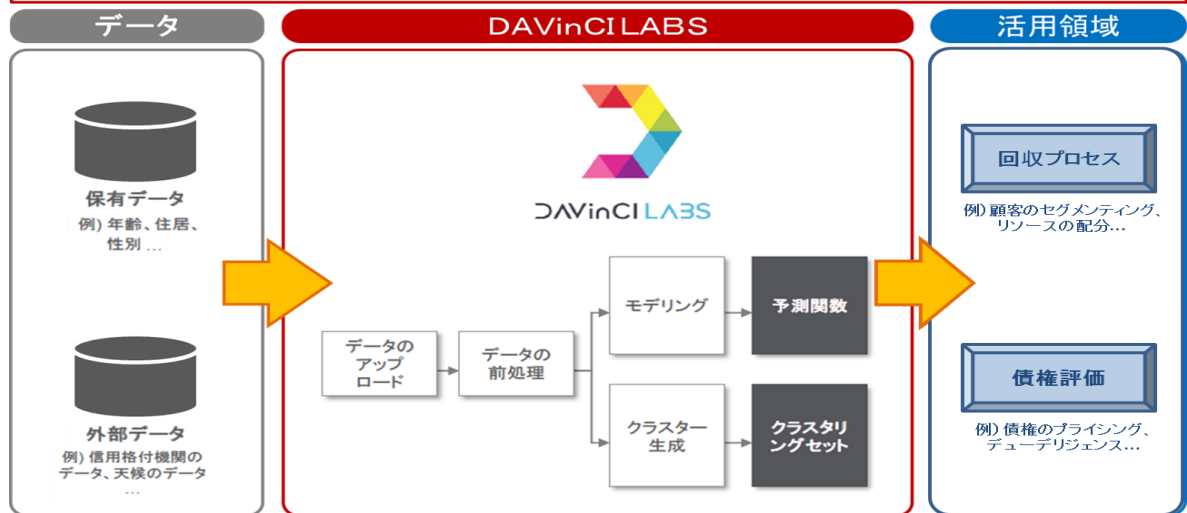
AI と当社がこれまでに培ってきた経験やノウハウなどの情報資産活用とを組み合わせることで、データを基盤にした金融イノベーションにおいて、債権回収分野における先導的な地位を確保していきたいと考えております。

当社は、これからも利便性・生産性の向上に向けた IT 技術の活用を積極的に進め、多くのステークホルダーの皆さまにとって、より魅力のある企業となるため、努力を続けてまいります。

以上

## ■システム概要

機械学習を利用して大量のデータを学習し、正確な予測モデルを作成。  
ワン・クリックでのエクスポートができ、様々な領域での活用が可能。



当社代表取締役：表寺務（左）と  
SW 社代表取締役：パク・ジェヒョン（右）

### 「DAVinCI LABS (ダヴィンチ・ラボ)」

- ・1%の専門家だけでなく、99%の一般人でも機械学習技術を活用可能とする AI マシンラーニングソリューション。機械学習基盤の予測モデルの構築、また構築した全ての機械学習モデル（分析結果）の抽出がクリックだけで可能となっており、システムへの反映やモデルのアップデートもあらかじめ決められたスケジュールによって自動実行が可能。
- ・多目的な用途での活用が可能であり、主に信用評価、詐欺摘発等に使われる与信モデルの開発や、マーケティング、商品開発などに活用。

### 「DAYLI Intelligence Inc. (デイリーインテリジェンス)」

- ・韓国の手総合フィンテック企業グループ「DAYLI Financial Group Inc.」の傘下で金融機関向けにブロックチェーンや、AI 等を用いたテクノロジーインフラを提供。

### 「Solidware Co., Ltd. (ソリッドウェア)」

- ・「DAYLI Intelligence」において「DAVinCI LABS」を開発している企業。実用的な AI の開発を目指し、AI ソリューションサービスの分野では韓国を代表する企業。
- ・韓国をはじめ、フランス、ロシア、スウェーデン、アメリカ等の機械学習技術専門家と共に開発。